

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公表番号】特表2009-526477(P2009-526477A)  
 【公表日】平成21年7月16日(2009.7.16)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-028  
 【出願番号】特願2008-554285(P2008-554285)  
 【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 11/00 3 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月29日(2010.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遠隔的に設定可能な職員がいる施設用のワイヤレスインターカムシステムであって、  
 広域コミュニケーションネットワークに接続可能な基地局と、  
 前記基地局と双方向ワイヤレスコミュニケーションを行う複数個のヘッドセットを備え

、  
 前記複数個のヘッドセットの各々と基地局との間の前記ワイヤレスコミュニケーション  
 が少なくとも1つのパラメータを用いて設定可能であり、

前記少なくとも1つのパラメータが前記施設の前記職員により調整可能であり、

前記少なくとも1つのパラメータが前記広域コミュニケーションネットワークを通じて  
 遠隔的に点検可能および遠隔的に調整可能なワイヤレスインターカムシステム。

【請求項2】

遠隔的に設定可能な職員がいる施設用のワイヤレスインターカムシステムであって、  
 広域コミュニケーションネットワークに接続可能な基地局と、  
 前記基地局と双方向ワイヤレスコミュニケーションを行う複数個のヘッドセットを備え

、  
 前記複数個のヘッドセットの各々と基地局との間の前記ワイヤレスコミュニケーション  
 が少なくとも1つのパラメータを用いて設定可能であり、

少なくとも1つのパラメータが前記広域コミュニケーションネットワークを通じて遠隔  
 的に点検可能であり、

前記少なくとも1つのパラメータが前記広域コミュニケーションネットワークを通じて  
 遠隔的に初期化可能なワイヤレスインターカムシステム。

【請求項3】

職員がおり、広域コミュニケーションネットワークに接続可能な基地局を有し、前記基  
 地局と双方向ワイヤレスコミュニケーション状態にある複数のヘッドセットを有する施設  
 に、遠隔的に設定可能なワイヤレスインターカムシステムを供給する方法であって、

前記複数個のヘッドセットの各々と前記基地局との間のワイヤレスコミュニケーション  
 を設定する工程と、

少なくとも1つのパラメータを前記広域コミュニケーションネットワークを通じて遠隔  
 的に点検する工程と、

前記複数個のパラメータに不良な状態が存在するかどうか遠隔的に決定する工程と、  
前記広域コミュニケーションネットワークを通じて前記少なくとも1つのパラメータを  
所定の値に初期化する工程を含む、方法。